

# 中央公園のトータルコーディネートについて

## 【ご意見】

近隣の市町村と比べて、あまりにも公園らしい公園がない。

古い芸術(アート)は、サビとゴミと劣化で、もう時効と言ってもよい。川も運動公園もプールも、それぞれバラバラ。作業員の小屋が真ん中に位置している。

もうちょっと全体をデザインしてせめて“たった一つの中央公園”が市民の行きたい所であってほしい。(せめてゴミを拾いたいけど、手をつける張り合いがないです。)あまりにもほったらかしの印象で、これはトータルコーディネートの無さが大きな原因だと思う。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

## 【回答】

更埴中央公園は、昭和 54 年に開設し、およそ 44 年が経過しております。

施設は、時間の経過とともに劣化しますが、公園利用者に危険を及ぼす恐れのある箇所につきましては、適宜修繕や更新を実施し、安全にご利用いただけるよう、管理を行っております。

また、公園内に設置しているモニュメントにつきましては、うるおいのあるまちづくりを目指して、多摩美術大学と「モニュメント制作協定」を締結し、昭和 60～62 年度に、多摩美術大学の学生により制作されたものであります。

それぞれの作品は、更埴中央公園にふさわしいイメージとなるよう制作されており、錆ついているモニュメントに関しましては、過去から未来へと移行行く「時」をイメージし、時間の経過とともに彫刻が変化していく様を肌で感じ、同じ時空に立っているという感覚的な体験を感じていただきたいという制作者の想いが込められています。

今回のご指摘のモニュメントの劣化についてのご意見は、上記の説明が不足していたことが原因であると考えますので、わかりやすい説明文等の設置を検討していきます。

更埴中央公園のトータルコーディネートにつきましては、公園利用者の皆さまのご意見をお聞きするなかで、公園の改修計画（リニューアル）も含めて検討を進めてまいります。

担当 都市計画課